令和2年度進行管理・評価シート
宇治市歴史的風致維持向上計画（平成24年3月5日認定）

（最終変更　令和2年3月13日）

□進捗評価シート（様式1）

①組織体制（様式1－1）
1 宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

②重点区域における良好な景観を形成する施策（様式1－2）
1 景観形成助成制度の啓発 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項（様式1－3）
1 史跡整備事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
2 情報発信･観光交流施設整備事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
3 重要文化的景観保存事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
4 歩道整備事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
5 歩行空間整備事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
6 無電柱化事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
7 観光サイン等整備事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
8 建物修景助成事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
9 屋外広告物助成事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
10 宇治茶園支援事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
11 宇治茶品質向上事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
12 宇治茶普及啓発事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
13 市営茶室対鳳庵活用事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
14 宇治川鵜飼助成事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
15 宇治十帖スタンプラリー開催 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
16 京都･宇治灯り絵巻の開催 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
17 文化財見学会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
18 歴史･文化啓発事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
19 文化的景観整備計画策定調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
20 観光交通対策検討調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
21 空き町家の活用検討調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
22 観光周遊道路の整備検討調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

④文化財の保存又は活用に関する事項（様式1－4）
1 文化財の修理（整備を含む） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
2 文化財の防災 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
3 文化財の保全及び活用の普及･啓発 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
4 埋蔵文化財の取扱い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
5 文化財の保存･活用に関わる
住民･NPO等の各種団体の状況及び今後の体制整備 ・・・・・・・・ 29

⑤効果･影響等に関する報道（様式1－5）
1 大幣神事、馳せ馬中止に / コロナ退散願い込め ・・・・・・・・ 30
2 ミュージアム　仕掛け満載 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
3 歴史文化財が…見納め ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
4 穢れを払い　無病息災祈願 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
5 宇治市「交流館」愛称つけて / 交流館の愛称「茶づな」 ・・・・・・・・ 34
6 縁起よくすべてをつなげ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
7 「覆小屋」棟上げ/木組み体験/萬福寺の古瓦で ・・・・・・・・ 36
8 宇治学ｷﾗﾘ☆光るｱｲﾃﾞｱ / 茶づなＰＲ提案書を作成 ・・・・・・・・ 37
9 まちづくりに新たな風 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
10 舞踏や変面ショー楽しんで / 萬福寺に幻想の光 ・・・・・・・・ 39

□法定協議会等におけるコメントシート（様式2） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40

進捗評価シート　（様式1-1）

評価軸①-1
組織体制

評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況
宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	計画の進捗管理や計画の変更･追加について、関係課から庁内意見を調整し、「宇治市歴史的風致維持向上協議会」に意見を伺うこととする。

定性的･定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

学識経験者、文化財所有者、各種関係団体及び行政関係者により構成される宇治市歴史的風致維持向上協議会を開催し、計画の進行管理･評価などについて、意見を聞くことができた。

令和2年5月25日に協議会資料を協議会各委員に送付し、令和2年6月5日までに意見記入様式にご意見を記載していただき、郵送もしくはメールにて回答を提出依頼し、書面にて会議を開催した。

【定量的評価】
宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催回数　：　1回

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催状況

実施期間	種別	検討事項等
令和2年 5月25日～6月5日	第1回 歴史的風致維持向上協議会 （書面会議）	【内容】 1. 議事 （1）会長･副会長の選任について （2）歴史的風致維持向上計画の令和元年度進捗評価のついて （3）歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について 2. 報告 （仮称）お茶と宇治のまち歴史公園整備運営事業に係る展示設計の概要

進捗評価シート　（様式1-2）

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況
景観形成助成制度の啓発	□実施済 ■実施中 □未着手

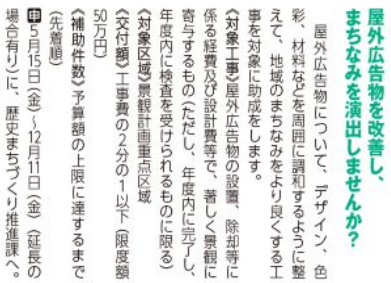
計画に記載している内容	「宇治市景観計画」においては、「悠久の歴史と自然を今に活かしふるさと宇治を誇り伝えん」とした基本理念のもと、市内全域を景観計画区域とし、8つに区分されたそれぞれの区域ごとに景観形成誘導指針及び屋外広告物に関する行為の制限を示している。

定性的･定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

本市は、宇治市景観計画重点区域内において、良好な景観の形成に著しく寄与する建築物や屋外広告物の整備に対して助成を行うこととしている。景観重要公共施設の沿道の助成対象区域において景観形成助成制度の啓発チラシにより、制度の周知をすすめた。また、屋外広告物助成事業については、市の広報紙「市政だより」による周知も行った。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等


屋外広告物を改善し、まちなみを演出しませんか？

屋外広告物について、デザイン、色彩、材料などを周囲に調和するように整えて、地域のまちなみをより良くする工事を対象に助成をします。

《対象工事》屋外広告物の設置、除却等に係る経費及び設計費等で、著しく景観に寄与するもの（ただし、年度内に完了し、年度内に検査を受けられるものに限る）

《対象区域》景観計画重点区域

《交付額》工事費の2分の1以下（限度額50万円）

《補助件数》予算額の上限に達するまで（先着順）

申 5月15日（金）～12月11日（金）（延長の場合有り）に、歴史まちづくり推進課へ。

市政だよりによる記事

助成対象区域で配布した啓発チラシ

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況
史跡整備事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成25年度～令和3年度
支援事業名	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業
計画に記載している内容	壮大な築堤状況が体感できる空間整備と茶園景観の修景とを一体的に行い、多くの市民や来訪者に本市の歴史･文化の総合的理解を促す。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

史跡整備事業は、機能時と埋没時の宇治川太閤堤を再現し、太閤堤の果たした役割と歴史の重層性を表現することとしている。
Aゾーンは機能時の太閤堤の護岸施設と宇治川を再現する。　Bゾーンは砂に埋もれた太閤堤の護岸施設と、砂州で営まれた茶園景観を復元整備する。
令和2年度は、造成、石積み、石張り等の各種遺構再現整備を行ったほか、植栽･舗装工事、解説案内板の設置を行った。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

Aゾーンの整備の様子
令和3年1月18日

Bゾーンの整備の様子
令和3年1月18日

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況
情報発信･観光交流施設整備事業	■実施済 □実施中 □未着手

事業期間	平成27年度 ～ 令和2年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）
計画に記載している内容	史跡宇治川太閤堤跡の隣接地において、市民と来訪者が利用できる、宇治の歴史や文化を情報発信する施設の整備を行う。当該事業により、宇治橋周辺地域の散策ルートの起点となる場所が確保され、来訪者の目的に応じたまちなか散策を円滑に誘導すると同時に、宇治の歴史や文化を総合的かつ分かりやすく伝えることができる。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

PFI方式で実施している歴史公園整備では、お茶と宇治のまち歴史公園の交流ゾーンが完成し、令和2年11月末日にPFI事業者から宇治市に引き渡された。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	計画どおり進捗し、建設工事が完了した。

状況を示す写真や資料等

外観（南西面）　（令和2年11月撮影）

エントランスホール　（令和2年11月撮影）

レストラン　（令和2年11月撮影）

2階　講座･会議室　（令和2年11月撮影）

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-3
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況
重要文化的景観保存事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成24年度～
支援事業名	文化的景観保護推進事業国庫補助
計画に記載している内容	重要構成要素の修理事業を実施し、積極的な活用を図ることにより、賑わいのある沿道景観の魅力向上や伝統的な茶業の継承に寄与する。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

重要文化的景観「宇治の文化的景観」の景観重要構成要素である菊屋萬碧楼建物、福文製茶場、上林家住宅の建物修理への補助を行った。

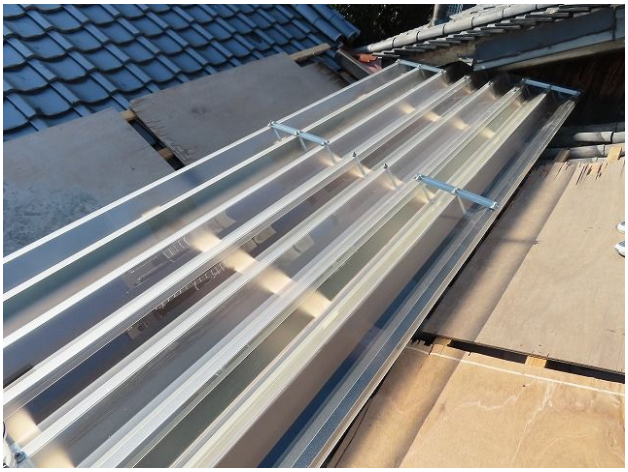
【定量的評価】
景観重要構成要素の届出建物修理修景事業の実施件数：3件

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

上林家住宅　修理前
令和2年7月31日

※ドーム型の屋根部分が雨漏りがするので形状をかえ修理。



上林家住宅　修理状況
令和3年2月5日

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況
歩道整備事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成21年度～令和3年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金（道路事業）
計画に記載している内容	史跡公園と宇治川周辺の歴史・文化資源を結ぶ道路であり、歩道を整備することで、来訪者が歴史に触れながら安心して散策できる快適な歩行空間を確保でき、宇治川周辺の回遊性の向上につながる。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

令和2年度は、市道菟道志津川線の門前工区で道路拡幅事業用地の取得に取り組んだ。また、谷下り工区ではJR奈良線大鳳寺踏切道の拡幅整備工事に着手した。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

市道菟道志津川線（門前工区）

（令和元年10月）

（令和3年3月現在）

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況
歩行空間整備事業	■実施済 □実施中 □未着手

事業期間	平成24年度～令和2年度
支援事業名	平成24年度～平成28年度：市単独事業 平成27年度～令和2年度：社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）
計画に記載している内容	史跡公園と宇治川周辺の歴史・文化資源や白川集落を結ぶ道路に歩行空間を整備することで、来訪者が歴史に触れながら安心して散策できるようになり、回遊性の向上につながる。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

令和2年度は、宇治川周辺の回遊性につながる散策路の1つである市道菟道94号線の歩行空間確保のための安全対策工事を行った。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

市道菟道94号線　整備前（令和2年4月）

市道菟道94号線　整備後（令和3年3月）

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-6
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況
無電柱化事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	～　令和3年度
支援事業名	地域自主戦略交付金 社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）
計画に記載している内容	道路の無電柱化を行い道路景観の改善を行うことにより、沿道の歴史的建造物や巡行する伝統的祭礼との調和が図られるため、歴史的風致の維持向上に寄与する。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

令和2年度は、宇治川周辺の回遊性につながる散策路の1つである市道宇治228号線の無電柱化工事に着手した。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

【位置図】

【整備前】（平成30年1月）

【整備後イメージ】

無電柱化に取り組むことで
伝統的な沿道景観との調和や道路景観の
改善を図る。

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況
観光サイン等整備事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成29年度～令和3年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金
計画に記載している内容	宇治市観光振興計画に基づき、国内外からの観光客が歴史･文化資源や歴史的町並み等を回遊しやすい環境を整備するため、観光サインや観光トイレの再整備を行う。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

宇治市観光案内サイン整備ガイドラインに基づき、あがた通り～観光センター周辺及び源氏タウンにおいて、新設5基、リノベーション4基、撤去14基の対応を行った。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	補助事業に基づく財政措置を行っており、国･府補助金の動向により整備の進捗に影響がある。

状況を示す写真や資料等

観光案内サインの新設（令和3年2月）

観光案内サインのリノベーション（令和3年2月）

観光案内サインの撤去（令和3年1月）

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況
建物修景助成事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成22年度 ～
支援事業名	市単独事業費
計画に記載している内容	歴史ある沿道景観の保全と形成を促進し、賑わいと風情あるまちづくりが推進される。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

本市は、特に景観に配慮すべき宇治市景観計画重点区域内の景観重要公共施設（道路）の一部沿道において、良好な景観の形成に著しく寄与すると認められる建築物、工作物、その他（設計費等）について、助成を行うこととしており、令和2年度の申請は2件である。

【定量的評価】
景観形成助成の件数　：　申請件数　2件
（参考）令和元年度　　：　申請件数　1件

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

施工前
（令和元年11月）

施工後
（令和2年9月）

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-9
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況
屋外広告物助成事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成22年度 ～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	景観阻害要因の減少とともに、歴史的な町並みと調和した賑わいと風情あるまちづくりが推進される。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

本市は、宇治市景観計画重点区域内において、良好な景観の形成に著しく寄与する屋外広告物の整備に対して助成を行うこととしているが、令和2年度の申請は1件である。

【定量的評価】
景観形成助成の件数　：　申請件数　1件
（参考）令和元年度　　：　申請件数　0件

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

施工前
（令和2年8月）

施工後
（令和2年11月）

令和2年度実績

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況
宇治茶園支援事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度　～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	減少傾向にある宇治市域の茶園の維持･拡大を進めることや、伝統的栽培方法を推奨することで、生産者の経済的負担軽減と活動意欲を支える。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

高品質な宇治茶の生産を促進する事業として、宇治茶の伝統的茶製法である「ほんず」による生産を支援する「伝統技術継承対策」支援事業を行うとともに、茶摘み時期に必要な「お茶摘みさん」の斡旋を支援する「手摘み茶推進対策」支援事業を行い、宇治独特の茶園景観の形成に寄与した。

【定量的評価】
伝統技術継承対策事業の実施件数　：　17件（274．3a）
「ほんず」による生産は非常に手間暇がかかり、生産省力化である寒冷紗による生産に移行する状況の中、実施件数は平成29年度19件（320．9a）、平成30年度17件（309．7a）、令和元年度15件（247．2a）と推移している。本事業による実施面積は、年度ごとの申請内容により増減があるものの、実施件数は近年横ばいで推移しており、ほんず栽培の保存や技術継承に効果を発揮していると評価できる。
手摘み茶推進対策の実施件数　　：　31件
手摘みを継続していくためには摘み子の確保が必須であるが、年々確保するのが厳しい状況であり、平成27年度以降実施件数が30件程度で推移しており、手摘みを継承していきたい茶業者の支えとなっており、手摘み茶の推進の効果を発揮していると評価できる。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

伝統技術継承対策事業により支援が行われた「ほんず」と呼ばれる覆下茶園の栽培状況

手摘み茶推進対策事業により実施された「お茶摘みさん」を募集するチラシ

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-11
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況
宇治茶品質向上事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度　～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	品質向上への意欲増進や栽培･生産技術の向上が図られる。また担い手育成に取り組むことにより、生業の維持が図られる。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

6月11日に宇治市で開催した宇治市茶品評会、8月25日から鹿児島県で開催された全国茶品評会（式典は11月13日に開催）への出品の支援を実施した。なお、関西茶品評会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。
茶品評会への出品を推奨することで、生産者の生産意欲を高めるとともに宇治茶の伝統的茶製法の継承につながった。

【定量的評価】
茶品評会出品数／入賞数　：　101点／48点受賞

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

全国茶品評会
（令和2年11月13日）

宇治市茶品評会
（令和2年6月11日）

品評会の実施状況

	第74回全国茶品評会	第73回関西茶品評会	第53回宇治市茶品評会
出品数	63	新型コロナウイルスの影響により中止	38
優等数			2
1等賞	5		4
2等賞	10		4
3等賞	19		4
農林水産大臣賞	受賞		
産地賞	受賞		

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況
宇治茶普及啓発事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度　～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	市民や来訪者が宇治茶に親しみ、宇治茶を理解することは、お茶のまち宇治の歴史的風致の維持向上に寄与する。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

例年開催している市民茶摘みのつどい、宇治茶まつり、市民素人茶香服大会について、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、開催されなかった。

【定量的評価】
「市民茶摘みのつどい」の参加者数　：　新型コロナウイルス感染症の影響により開催なし
「宇治茶まつり」の参加者数　：　新型コロナウイルス感染症の影響により開催なし
「市民素人茶香服大会」の参加者数　：　新型コロナウイルス感染症の影響により開催なし

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	イベント系の事業となるため、コロナ渦における開催方法が課題。 各事業主体等と協議の上、今後の対応について検討が必要。

状況を示す写真や資料等

宇治茶収穫に感謝込め

県神社　古式ゆかしく献茶祭

宇治市宇治蓮華の県神社（田鍬到一宮司）で5日、恒例の献茶祭が開かれた。地元の茶業関係者らが古式ゆかしい茶壺口切り式を見守り、茶の収穫に感謝を込めた。

「茶家の正月」と言われる炉開きの11月に合わせ、戦後間もないころから毎年行われている。

本殿での茶壺口切り式では、堀井長太郎さんが入江宗輔さんの介添えで茶壺の封を小刀で切り、初夏に摘んで寝かせていた新茶を取り出し、石臼でひいて抹茶にした。茶道藪内（やぶのうち）流の藪内紹智家元が濃茶と薄茶をたて、神職が神前に供えた。

祝詞奏上に続いて参列者が順に玉串を奉納し、宇治茶と茶業、茶道の隆盛を祈願した。

今年は新型コロナウイルス対策で濃茶・薄茶・点心の拝服席は中止した。

県神社本殿で厳かに執り行われた茶壺口切り式

▲　県神社で献茶祭が行われた様子　（令和2年11月5日）

新型コロナウイルス感染症対策のため、濃茶･薄茶･点心の拝服席は中止となったが、恒例の茶壺口切り式は古式ゆかしくとりおこなわれた。

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-13
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況
市営茶室対鳳庵活用事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度　～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	茶文化を体験できる機会を提供することは、市民や来訪者に宇治茶の品質や、茶業全般への関心や理解を促すことにつながる。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

本格的数奇屋建築の市営茶室「対鳳庵」において、表千家･裏千家･山荘流の3流派による抹茶や、小川流、二条流、瑞芳菴流、方円流の4流派による煎茶の本格的なお点前の実施により、茶文化の体験できる機会の創出とお茶への関心や理解を促す場を提供することができた。

なお、平成26年4月より従来の抹茶の薄茶、煎茶のみのメニューから濃茶と薄茶、玉露と煎茶のセットメニュー及びお点前体験のメニューを追加することにより、利用者の増加や満足度を高める取り組みを行っている。

また、正門、待合、植栽等の改修工事を行い、令和2年7月1日よりリニューアルオープンしている。

【定量的評価】
市営茶室でお茶席の利用者数　：　1，908人
（参考）令和元年度　：　18，782人
※新型コロナウイルス感染症の影響により観光客入込客数が大幅に減少

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

茶の湯の用意ができていることを知らせる“在釜”の札をかかげる市営茶室対鳳庵の露地門

本席（三畳向切）において抹茶点前で喫茶の様子

■対鳳庵　入席者数

	入席者数	うち外国人
平成24年度	16,302人	4,889人
平成25年度	14,259人	4,259人
平成26年度	22,335人	6,059人
平成27年度	21,638人	7,198人
平成28年度	21,329人	8,442人
平成29年度	24,792人	11,803人
平成30年度	23,354人	11,858人
令和元年度	18,782人	10,930人
令和 2年度	1,908人	58人

■対鳳庵　新メニュー実績

	濃･薄セット	玉露	玉･煎セット	お点前体験
平成26年度	248人	2人	2人	345人
平成27年度	118人	20人	5人	885人
平成28年度	181人	9人	6人	913人
平成29年度	134人	9人	0人	1,026人
平成30年度	106人	22人	27人	954人
令和元年度	143人	23人	7人	1,191人
令和 2年度	15人	13人	0人	53人

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月1日～6月30日、1月16日～3月7日まで休席となった。

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-14
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況
宇治川鵜飼助成事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度　～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	平安貴族の宇治川見物のひとつであった宇治川の鵜飼は、鎌倉時代に禁止されたのち、昭和初年に復活し、以降宇治川の夏の風物詩として定着している。多くの来訪者を楽しませる鵜飼を継承する。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から当面延期の方針をとっていたが、結果として1日も営業することができず全日程を終了した。

【定量的評価】
鵜飼船乗船者数　：　0人
（参考）令和元年度　：　約2，635人（増水・台風のため53日間の臨時休業があり、39日間の営業実施であった。）

≪うみうのウッティー　孵化・成長≫
平成26年・・・1羽　平成27年・・・2羽　平成28年・・・2羽　平成29年・・・4羽　平成30年・・・0羽
令和元年・・・2羽　令和2年度・・・0羽

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	今後、さらなる集客に向けて放ち鵜飼の検討を行っている。

状況を示す写真や資料等

■鵜飼の様子

■鵜のヒナ

	営業時間			期間日数	休業日数	営業日数	乗船人数	（内乗合人数）	1日平均（人）
平成25年度	6月15日	～	9月23日	101	18	83	6,700	4,700	80
平成26年度	6月15日	～	9月21日	99	23	76	6,970	4,520	91
平成27年度	6月14日	～	9月23日	102	40	62	7,060	3,670	114
平成28年度	7月1日	～	9月30日	92	13	79	6,920	3,570	88
平成29年度	7月1日	～	9月30日	92	17	75	6,390	3,470	86
平成30年度	7月1日	～	9月30日	92	43	49	4,325	1,965	89
令和元年度	7月1日	～	9月30日	92	53	39	2,635	1,670	68
令和 2年度	中　止			―	―	―	―	―	―

■うみうのウッティー
平成26年6月29日、宇治川の鵜飼で飼育されているウミウに初めてのヒナが誕生しました。
ウミウは警戒心が強いため、飼育されているウミウの産卵及びふ化は日本で初めてのことです。
このヒナはウッティーと名付けられ、鵜飼デビューを果たし活躍しています。
現在までに11羽のウッティーが誕生しています。

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-15
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況
宇治十帖スタンプラリー開催	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度　～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	近世から親しまれる宇治の遊覧の1つ『源氏物語』宇治十帖めぐりを定期的に設けることにより、多くの人に宇治川河畔の歴史的風致に触れる機会が創出される

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

毎年晩秋の宇治の風情を楽しみながら源氏物語宇治十帖ゆかりの地などを巡るスタンプラリーを開催しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

第29回（令和元年度）スタンプ帳

当日の様子（令和元年度）

	開催日数	参加者数
平成25年度	5	16,598人
平成26年度	5	17,176人
平成27年度	5	17,744人
平成28年度	5	17,503人
平成29年度	5（内1日中止）	12,674人
平成30年度	4	13,146人
令和元年度	4	12,008人
令和　2年度	中止	―

■宇治十帖スタンプラリー参加者

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-16
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況
京都･宇治灯り絵巻の開催	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度　～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	かつては宇治川の蛍狩りが夏の夜の風物詩として、多くの来訪者で賑わいを見せた。現在宇治川で蛍を見ることはできないが、夜に宇治川河畔を散策する機会を設けることで、かつてのような賑わいの創出につながる。

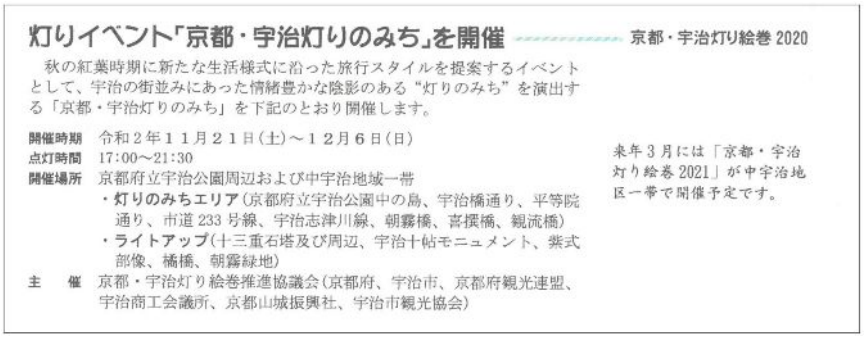
定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

宇治川の鵜飼、植物公園の蛍ナイター、三室戸寺のライトアップや宇治市観光協会の会員13店舗等による行燈の掲出･点灯を継続して実施し、計画に記載している「夜に宇治川河畔を散策する機会を設けることで、かつてのような夜の賑わいの創出につながる。」という一定の効果が発現した。昨年度より「京都･花灯路」のコンセプトと源氏物語宇治十帖をテーマにした「宇治灯り絵巻灯籠」を融合し、宇治の街並みに似合う宇治情緒豊かな陰影のある灯りの路を連結する事業を企画し、実施することとした。昨年3月に予定していたイベントについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から延期となったが、11月～12月にかけて朝霧橋等のライトアップや宇治十帖の灯籠を宇治橋上流側の道に並べる「灯りのみち事業」を実施した。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画どおり進捗している ■計画どおり進捗していない	次年度以降も継続し、イベント等に合わせた灯りの演出と、京都府と連携した「京都･花灯路」連携周遊事業にも引き続き取り組む。

状況を示す写真や資料等

■京都･宇治灯り絵巻のイメージ写真



灯りイベント「京都・宇治灯りのみち」を開催　京都・宇治灯り絵巻 2020

秋の紅葉時期に新たな生活様式に沿った旅行スタイルを提案するイベントとして、宇治の街並みにあった情緒豊かな陰影のある“灯りのみち”を演出する「京都・宇治灯りのみち」を下記のとおり開催します。

開催時期　令和２年１１月２１日(土)～１２月６日(日)
点灯時間　17:00～21:30
開催場所　京都府立宇治公園周辺および中宇治地域一帯
・**灯りのみちエリア**（京都府立宇治公園中の島、宇治橋通り、平等院通り、市道 233 号線、宇治志津川線、朝霧橋、喜撰橋、観流橋）
・**ライトアップ**（十三重石塔及び周辺、宇治十帖モニュメント、紫式部像、橋橋、朝霧緑地）
主　催　京都・宇治灯り絵巻推進協議会（京都府、宇治市、京都府観光連盟、宇治商工会議所、京都山城振興社、宇治市観光協会）

来年３月には「京都・宇治灯り絵巻 2021」が中宇治地区一帯で開催予定です。

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-17
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況
文化財見学会	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度　～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	小学生を対象にした文化財の普及･啓発活動は、郷土の歴史と身近な文化財への理解を促すとともに、ふるさと宇治に愛着と誇りを持ち、地域の伝統文化の継承への意識を高めることにもつながるため、次世代へと引き継ぐべき歴史的風致の維持向上に寄与するものである。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

・秋の庵寺山古墳の一般公開　　令和２年１１月２８日（土）　１０：００～１５：００　　約１５０人

令和２年度の秋の庵寺山古墳の一般公開では、例年より多くの見学者が訪れた。
なお、春の庵寺山古墳の一般公開及び小中学生の文化財見学会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、実施しなかった。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

庵寺山古墳の一般公開
（令和2年11月）

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-18
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況
歴史・文化啓発事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度　～
支援事業名	文化的景観保護推進事業国庫補助、市単独事業
計画に記載している内容	多くの市民を対象にした歴史・文化の啓発活動は、郷土の歴史と身近な文化財への理解を促すとともに、ふるさと宇治に愛着と誇りを持ち、地域の伝統文化の継承への意識を高めることにもつながる。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

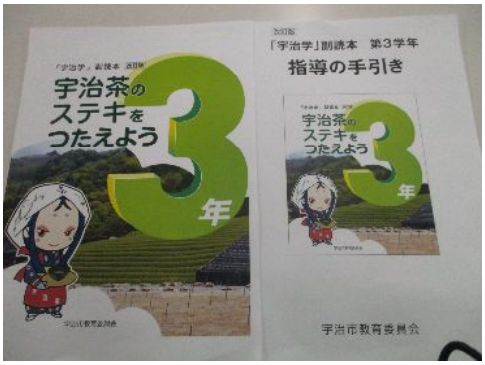
○「宇治学」（総合的な学習の時間）での探究的・協働的学習をより効果的に実施するため、「宇治学」副読本・指導の手引きを作成配付【定量的評価】
○活用充実のための「実践事例」の作成　○「宇治学」副読本（小学校第3・中学校第1学年）の改訂版を市内小中学校32校に配付　○小学校から積み上げてきた「宇治学」の集大成として、中学第3学年では「ふるさと宇治」をより良くすることをテーマに、本市各課の出前授業等を行い、本市への提言【企画提案書づくりとプレゼンテーション】を実施。これらの体験活動をとおして、ふるさとに対する関心を高め、本市への愛着心を醸成している。

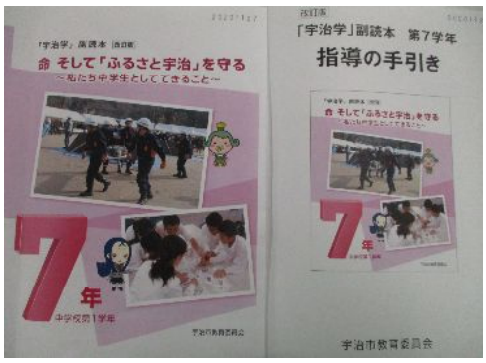
文化的景観フォーラム、太閤堤跡保存整備フォーラム、出前講座、二子山古墳フォーラムについては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催を中止した。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

令和3年1月29日　「宇治市への提言」企画提案書のプレゼンテーション





改訂版副読本の発刊

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-19
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況
文化的景観整備計画策定調査	□実施済 ■実施中 □未着手

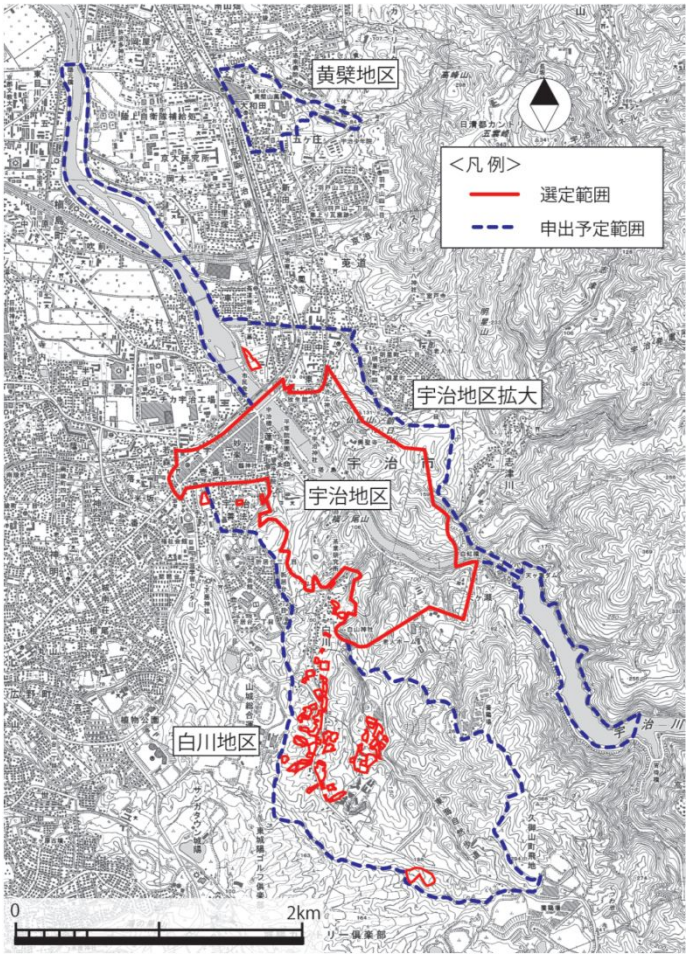
事業期間	～　令和3年度
支援事業名	文化的景観保護推進事業国庫補助
計画に記載している内容	地域の自然･歴史･社会的文脈を保全しつつ、次世代のまちづくりを考える文化的景観の保護の取組は、歴史的風致の維持向上と密接に関わるものであり、整備計画において、重要構成要素に特定された物件を対象に、所有者等の協力を得て宇治地区の街区構造の継承や茶業関係の家屋の修景など整備活用の具体的検討を行う。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

令和元年度に景観重要構成要素の建物として追加申出をした清水家住宅、寺川家土蔵、御菓子司能登掾稲房安兼、茶房あじろの計4件が、令和2年度に当該建物に選定された。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	重要構成要素の拡大については、世代交代により建物を維持していくことに関して見通すことができないという所有者も多く、特に民家の保存についての問題が浮かび上がったが、要望している所有者もあることから、順次要望しているところから拡大していく。

状況を示す写真や資料等



宇治の文化的景観　選定範囲と拡大予定範囲

重要構成要素追加建物

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-20
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況
観光交通対策検討調査	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成25年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	観光シーズンになると自家用車が重点区域に集中し、来訪者で賑わう狭隘な道路での安全性の確保や、近年増加している自転車の来訪者への対策が講じられておらず、宇治の風情を損なうことがある。このような交通問題対策として、来訪時と来訪中の移動について総合的に対策を検討し、計画に基づき、様々な事業をパッケージ的に実施することにより、歴史的風致の維持向上を図る。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

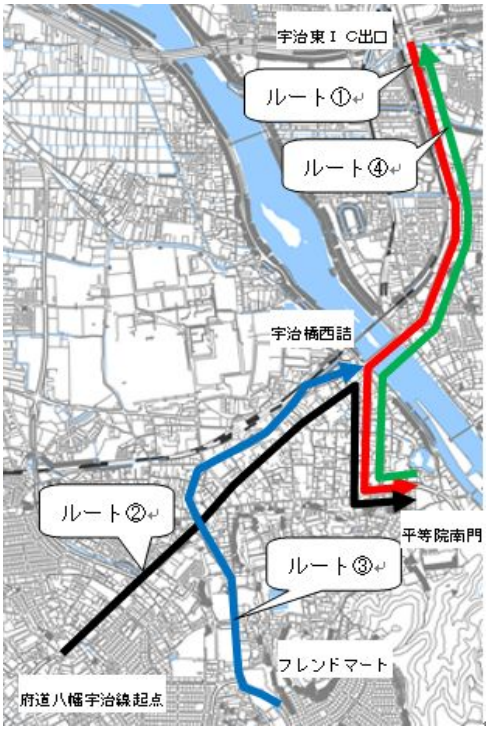
【令和2年度】
平成27年度から周辺駐車場の情報発信や現地での誘導等による効果を確認するため、ゴールデンウィークにおける車での旅行時間の調査を実施している。
令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により緊急事態宣言が発出されていたため、調査を実施していない。

【今後の予定】
宇治市観光振興計画のアクションプランに基づき、市役所駐車場の開放等の臨時駐車場の開設や、道路の迂回･誘導の案内設置等の事業を実施している。それに加え、令和2年10月に宇治橋西詰の交差点改良があったため、それらによる交通量の変動を確認するため、新型コロナウイルス感染症の動向を注視しつつ、引き続き同様の調査を行う。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	･宇治の風情を損なわないよう、観光交通の対策として、駐車場の情報発信や現地の誘導等を実施している。 ･旅行時間調査における目標値の設定については、天候や様々なイベント等の実施により交通量が変動するので難しいが、数年間調査を継続し統計を取ることで、一定観光交通対策の効果が確認できるのではないかと考えており、調査結果が出た段階で実施している対策の検証を行っていく。

状況を示す写真や資料等

旅行時間の調査（ルート①～④にて実施：4ルート）



R1.5.4 旅行時間調査の状況

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況
空き町家の活用検討調査	□実施済 ■実施中 □未着手

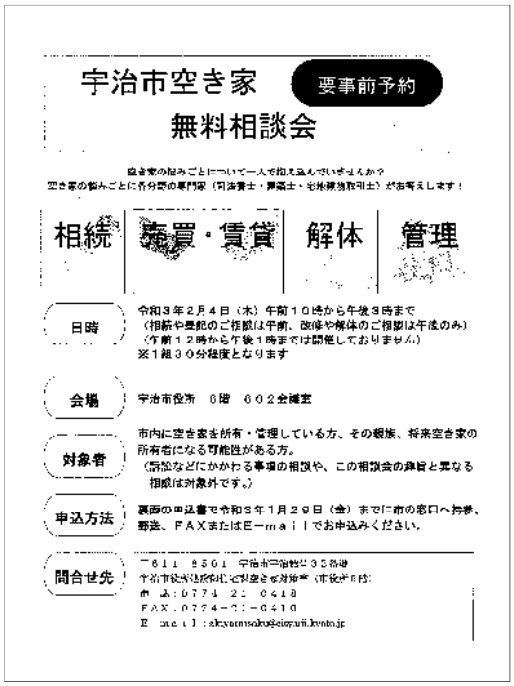
事業期間	平成27年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	伝統的木造家屋を活用することは、賑わいと風情ある町並みの継承につながる。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

令和2年度も、平成28年度、令和元年度同様に実施した「中宇治地区に残る伝統的木造家屋の空き家調査」の再調査を行い、近年の空き家と滅失の状況を調べた。また、平成30年度末に策定した「宇治市空き家等対策計画」に基づき、空き家の利活用施策として実施している「空き家の再生･利活用コンペ」の募集を令和2年1月15日から令和2年6月15日まで行い、無料相談や空き家等に関する出前講座の募集も呼びかけた。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	市内では空き町家を含め空き家が増加しつつあり、その中には適正に管理されず、地域の生活環境の悪化につながっているものも見受けられる。 そのような状況を踏まえ、30年度末に策定した宇治市空き家等対策計画に基づき、今後、空き家の所有者等が適正に管理できるよう各種の支援施策を実施する。 既に実施している景観形成助成金制度では、空き町家の利活用の促進へと繋げることを引き続き検討していく。

状況を示す写真や資料等



宇治市空き家　要事前予約

無料相談会

空き家の悩みごとについて一人で抱え込んでいませんか？
空き家の悩みごとに各分野の専門家（司法書士・弁護士・宅地建物取引士）が応答えします！

相続　売買・賃貸　解体　管理

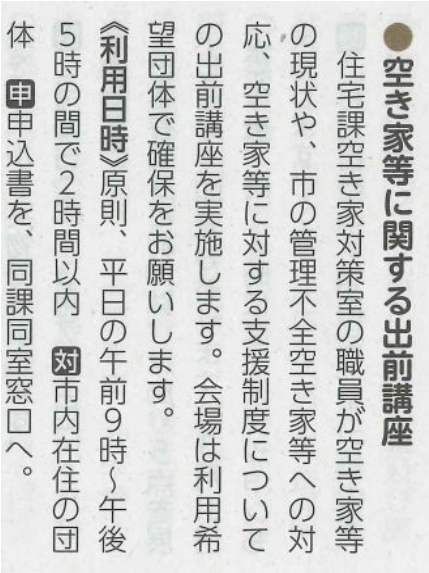
日時　令和３年２月４日（木）午前１０時から午後３時まで
（相続や登記のご相談は午前、改修や解体のご相談は午後のみ）
（午前１２時から午後１時までは開催しておりません。）
※１組３０分程度となります

会場　宇治市役所　６階　６０２会議室

対象者　市内に空き家を所有・管理している方、その親族、将来空き家の所有者になる可能性がある方。
（売買などにかかわる事項の相談や、この相談会の趣旨と異なる相談は対象外です。）

申込方法　裏面の申込書で令和３年１月２９日（金）までに市の窓口へ持参、郵送、ＦＡＸまたはＥ－ｍａｉｌでお申込みください。

問合せ先　〒６１１－８５０１　宇治市宇治妙楽２３番地
宇治市役所建築指導課空き家対策室（市役所５階）
電話：０７７４－２２－６４１８
ＦＡＸ：０７７４－２２－６４１０
Ｅ－ｍａｉｌ：akiyamusubu@city.uji.kyoto.jp



●空き家等に関する出前講座

住宅課空き家対策室の職員が空き家等の現状や、市の管理不全空き家等への対応、空き家等に対する支援制度についての出前講座を実施します。会場は利用希望団体で確保をお願いします。

《利用日時》原則、平日の午前9時～午後5時の間で2時間以内　対市内在住の団体　申申込書を、同課同室窓口へ。

中宇治地区における伝統的家屋の状況

平成21年の中宇治地区における町並調査で
建築後50年以経過している建物が対象
調査件数：324軒

	空き家	空き家率	滅失	滅失率
H25	33	11.04%	25	7.72%
H28	29	10.43%	46（＋21）	14.20%
R1	14	5.11%	50（＋4）	15.43%
R2	18	6.74%	57（＋7）	17.59%

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-22
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況
観光周遊道路の整備検討調査	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成28年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	来訪者が歴史に触れながら散策できる快適な道路空間を確保することにより、宇治川周辺の回遊性の向上につながるため、歴史的風致の維持向上に寄与する。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

平成29年度には、来訪者が歴史に触れながら散策できる快適な道路空間を確保するため、宇治川周辺の回遊性につながる散策路の1つである市道宇治228号線の無電柱化についての検討を行った。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

【位置図】

無電柱化に取り組むことで
伝統的な沿道景観との調和や道路景観の
改善を図る。

【現在】（平成30年1月）

【整備後イメージ】

進捗評価シート　（様式1-4）

評価軸④-1
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況
文化財の修理（整備を含む）	□実施済 ■実施中 □未着手

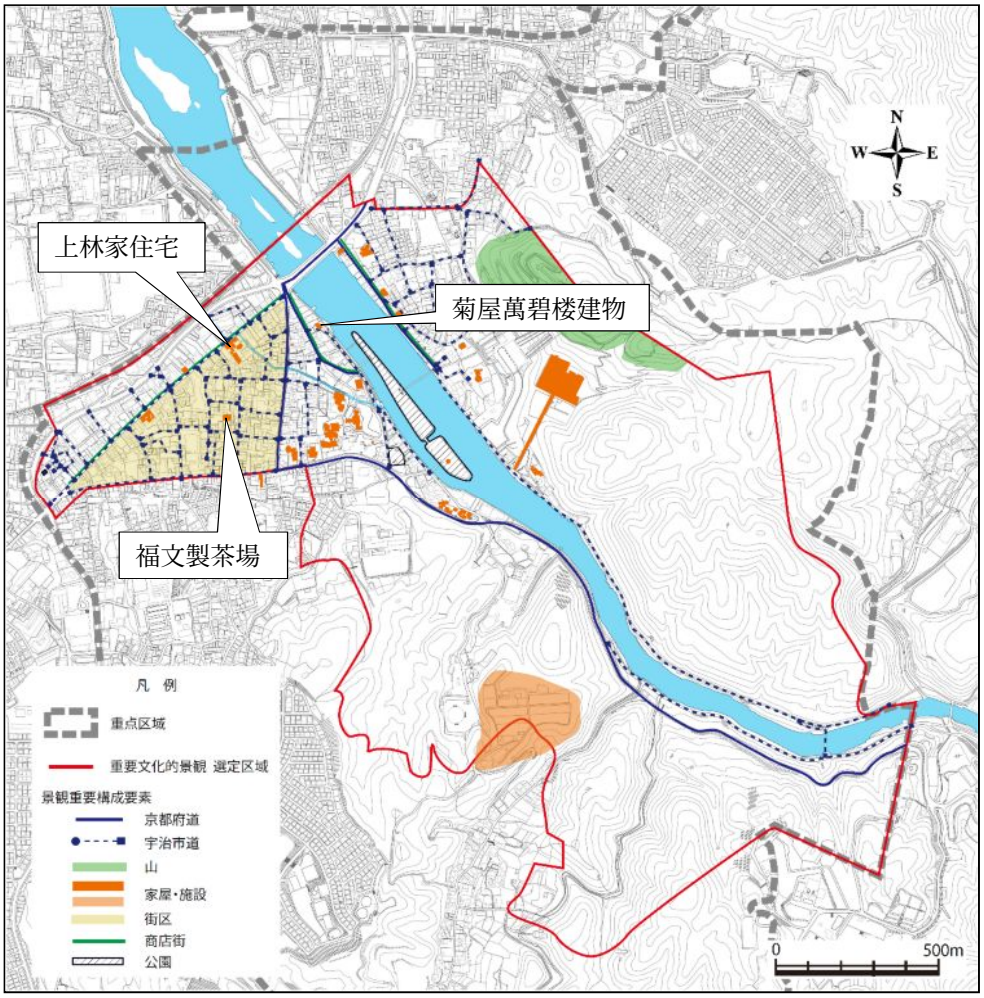
計画に記載している内容	（1）国宝・重要文化財建造物 宇治上神社本殿・拝殿（国宝）は、前回の屋根葺替から拝殿は35年、本殿は30年が経過して檜皮の傷みが顕著になっており、このため国庫補助事業による屋根葺替修理が計画されている。 （2）重要文化的景観 重要構成要素の家屋の修理・修景は、国の補助金の充当を可能とする市の分担金条例に基づき、文化的景観保存活用事業として進めている。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

（1）国宝・重要文化財建造物
国宝宇治上神社の修理は平成26年度完了。令和2年度は、国宝平等院鳳凰堂保存修理が行われた。
（2）重要文化的景観
令和2年度は、景観重要構成要素の届出建物修理修景事業として、菊屋萬碧楼建物、福文製茶場、上林家住宅への補助を実施した。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	重要文化的景観の補助制度が平成28年度に変更となり、補助金に市の負担が入ることとなったため、市の予算によって事業量が制限される。重要構成要素の家屋は、多くが個人所有であるため、事業計画から事業実施まで綿密にコントロールする必要がある。

状況を示す写真や資料等



宇治の文化的景観　修理箇所位置図

進捗評価シート　（様式1-4）

評価軸④-2
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況
文化財の防災	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	平成20年に発足した「宇治市文化財まもり隊」の活動は、文化財に対する保護意識高揚と地域の自主防災活動を促し、火災予防の徹底と災害が発生した場合の被害軽減を図っている。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

文化財まもり隊は、自主消防隊を持つ平等院と、5年前に指定された恵心院以外の指定建造物に対して結成されている。
令和2年度の文化財防火デーに行う予定の各種活動（消防訓練、防火懇談会等）は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、実施しなかった。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	文化財所有者と密に連絡を取る体制については、今後も引き続き維持していく。

状況を示す写真や資料等

令和2年度の文化財防災の啓発ポスター

進捗評価シート　（様式1-4）

評価軸④-3
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況
文化財の保存及び活用の普及･啓発	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	文化財に親しんでもらうことを目的とした市指定史跡庵寺山古墳の公開や小中学生を対象にした文化財見学会、発掘調査報告会、文化的景観フォーラム等を行っており、これらの活動や行事を通じて文化財保護の普及啓発に努める。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

・秋の庵寺山古墳の一般公開　　令和２年１１月２８日（土）　１０：００～１５：００　　約１５０人

春の庵寺山古墳の一般公開及び小中学生の文化財見学会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和２年度は実施しなかった。また、庵寺山古墳の一般公開では、古墳の見学のほか勾玉作りを行っており、例年多くの小学生が参加し盛況を見せるが、令和２年度の秋の庵寺山古墳の一般公開では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、勾玉作りセットの配布にとどめた。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	今後、体験メニューを行う際には、新型コロナウイルス感染症対策を講じる必要がある。

状況を示す写真や資料等

庵寺山古墳の一般公開　勾玉作りセット配布の様子
（令和2年11月）

進捗評価シート　（様式1-4）

評価軸④-4
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況
埋蔵文化財の取扱い	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	重点区域内には「宇治市街遺跡」、「平等院旧境内遺跡」、「白川金色院跡」、「宇治川太閤堤跡」等の埋蔵文化財包蔵地があり、整備や活用に反映させることとする。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

史跡公園として整備を進めている史跡宇治川太閤堤跡では、造成、石積み、石張り等の各種遺構再現整備を実施した。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

遺構再現整備前
令和2年6月23日

遺構再現整備後
令和2年9月8日

進捗評価シート　（様式1-4）

評価軸④-5
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況
文化財の保存･活用に関わる住民･NPO等の各種団体の状況及び今後の体制整備	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	お茶どころ宇治の個性を磨くため、宇治茶園の覆下栽培を維持･拡大するための支援事業、宇治茶製法技術保存会への助成事業、「宇治茶まつり」などの実施団体への助成事業など、宇治茶の品質向上･普及に努める農家や団体等への各種支援を実施する。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

高品質な宇治茶の生産を促進する高品質茶推進事業として、宇治茶の伝統的茶製法である「ほんず」による生産を支援する「伝統技術継承対策」支援事業を行うとともに、茶摘み時期に必要な「お茶摘みさん」の斡旋を支援する「手摘み茶推進対策」支援事業を行った。
また、例年開催される「宇治茶まつり」、「市民素人茶香服大会」等は新型コロナウイルス感染症の影響により開催されなかった。

【定量的評価】
「伝統技術継承対策」支援事業の実施件数　：　17件（274．3a）
「手摘み茶推進対策」の実施件数　：　31件
「宇治茶まつり」の参加者数　：　新型コロナウイルス感染症の影響により開催なし
「市民素人茶香服大会」の参加者数　：　新型コロナウイルス感染症の影響により開催なし

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

伝統技術継承対策支援事業により支援が行われた
「ほんず」と呼ばれる覆下茶園の栽培状況

進捗評価シート　（様式1-5）

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

評価対象年度　令和2年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
大幣神事、馳せ馬中止に	令和2年4月22日	洛タイ新報
コロナ退散　願い込め　大幣神事代わりに「お祓い」	令和2年6月9日	洛タイ新報

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

コロナ禍で大幣神事及び馳せ馬は早々に中止と発表され、毎年楽しみにされている市民や観光客にとっては大変残念であったが、人々の願いを汲み、コロナ退散のお祓いが行われた。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

奉賛会による梵天が宇治神社御旅所を出る（昨年6月）

大幣神事、今年はお預けに（昨年6月）

県神社による梵天ぶん回し（昨年6月）

大幣神事、馳せ馬中止に

県神社　緊急事態宣言受け

宇治運輩にある県神社（田鍬到「宮司」）が、6月の県祭りに続き行って来た「大幣神事」も、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言を受け、中止が決まった。

久世郡宇治郷のまちの厄を被（はら）う神事として中世期の形式を受け継いでおり、風流傘や宇治運輩にある県神社（田鍬到「宮司」）が、6月の県祭りに続き行って来た「大幣神事」も、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言を受け、中止が決まった。

久世郡宇治郷のまちの厄を被（はら）う神事として中世期の形式を受け継いでおり、風流傘や式の持ち物や、綱馬神事など古人による馳せ馬などが知られている。

今回は、ハイライトの馳せ馬をはじめ、古式行列など多数の見物客が予想される一連の行事を中止し、宇治橋西詰でのお祓いのみを行うことにした。

田鍬宮司は「自粛が求められている中なので、苦渋の決定です」と話した。

宇治神社でも神輿巡行中止

緊急事態宣言を受け、宇治山田にある宇治神社（花房義久宮司）でも神輿や梵天巡行を取り止めとした。

6月5日の祭礼祭（へいとさい）については、午前10時に同神社御旅所での祭事遂行のみとし、夜間の梵天渡御は行わない。

また、5月10日の神幸祭（おいで）、6月14日の還幸祭（おかえり）では、それぞれ御本殿と御旅所での祭典を行い、神輿での渡御を中止する。

大幣がまつられた県神社の大幣殿で厳粛に営まれた神事

宇治橋西詰で新型コロナウイルスなど疫病退散のお祓いをする参列者ら

コロナ退散　願い込め

県神社　大幣神事代わりに「お祓い」

疫病退散を願って平安時代から続く「大幣神事」に代わるお祓いが8日、中宇治地域で営まれた。

大幣神事は旧久世郡宇治郷のまちを疫病から守り、商売繁盛や五穀豊穣を願う神事として中世から受け継がれてきた。市の無形民俗文化財。

今年は新型コロナウイルス感染拡大を受け、多数の見物客が見込まれる一連の行事を中止。見せ場となる馳せ馬や古式ゆかしい行列、町中の災厄を集めた大幣を宇治橋上から宇治川に投げ入れることは取り止め、関係者が神事とお祓いを執り行った。

3つの麻色い笠や御幣で飾られた大幣をまつった同神社大幣殿に、神職や同神社後援会、総代、幣差ら約10人が集まった。田鍬到「宮司」が祝詞をあげた後、参列者が順に玉ぐしを捧げた。

一行は同神社を出発して県通りを歩き、辻々でお祓いをした。

宇治橋西詰では、田鍬宮司のお祓いに続いて米と塩、榊葉、切麻（きりぬさ）と呼ばれる白い紙片をまき、初夏の日差しが降り注ぐ中、新型コロナの終息を祈った。

進捗評価シート　（様式1-5）

評価軸⑤-2

効果・影響等に関する報道

評価対象年度　令和2年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
「お茶と宇治のまち歴史公園」中核施設　**ミュージアム 仕掛け満載**	令和2年5月11日	京都新聞

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

「お茶と宇治のまち歴史公園」のミュージアムについて広く周知することができ、開園を楽しみにされている方々には、更なるワクワク感を与えることになった。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

「お茶と宇治のまち歴史公園」中核施設

ミュージアム 仕掛け満載

来夏オープン予定　茶櫃イメージ 引き出し

宇治市は、2021年6月オープンを予定する「（仮称）お茶と宇治のまち歴史公園」（同市菟道、乙方）のミュージアム展示概要を公表した。茶櫃をイメージした引き出しの展示や、茶葉に触れ、香りを楽しむ体験など、親しみやすい仕掛けを設ける。来館者のスマートフォンに市内観光スポットの情報を取り込めるコーナーもあり、市内周遊の玄関口となる情報発信を目指す。

（仮称）お茶と宇治のまち歴史公園に整備するミュージアムの展示概要図＝宇治市提供

歴史公園（2・5ヘクタール）は京阪宇治駅北側に約74億円で整備する。公園整備のきっかけとなった豊臣秀吉築造とされる宇治川太閤堤跡（国史跡）や、茶摘み体験もできる昔の茶園の再現を中心とする史跡ゾーンと、交流ゾーンを設ける。

ミュージアムは交流ゾーンの中核で、年間11・5万人の来館者を見込む。

ミュージアムは「お茶ゾーン」から展開し、スタート部分にシンボルツリーとしてお茶の木を置く。続いて、宇治茶づくりやブランド確立の歴史について、江戸時代のお茶壺道中の3次元コンピューターグラフィックス映像などで紹介し、覆下栽培や手もみ製法など手間をかけた高品質な茶作りを今も受け継いでいる様子を説明する。

お茶の味や香りを科学的データに基づいて分析したり、茶櫃をイメージした引き出しを開けると宇治茶に関わるさまざまな知識を学べたりするコーナーも設ける。

「お茶ゾーン」を見終えると、平等院鳳凰堂を描いた巨大な10円玉が出現する「歴史ゾーン」に進む。古代から歴史に登場することや、藤原摂関家の「極楽浄土」、何度も合戦の舞台になった宇治橋、太閤堤築造の経緯、近世から観光地として発展したまちについて多くの映像で伝える。

ミュージアムを出た場所には、周辺の観光スポットの情報をスマホにQRコードで読み込める場所も設け、まち歩きに活用してもらう。

市は、施設の設計や建設、運営を民間事業者に一括して委ねるPFI事業を歴史公園で初めて採用している。ミュージアムの展示についても、東京や宇治などの企業でつくる特別目的会社が独自に提案した内容を基に、市の要望を踏まえて修正し、まとめた。（相見昌範）

進捗評価シート　（様式1-5）

評価軸⑤-3
効果・影響等に関する報道

評価対象年度	令和2年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
歴史的文化財が・・・見納め	令和2年7月1日	洛タイ新報

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

歴史的文化財の保存等についての問題が提起された。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

歴史的文化財が…見納め

府道宇治淀線の拡幅工事で

宇治～大久保を結ぶ府道宇治淀線で計画中の道路拡幅で、専修院（福本哲了住職）の敷地前面の用地提供が決まった。寺の建て替えに伴う改修工事が終わりしだい着工予定で、拡幅の完了は来年4月以降の見込み。

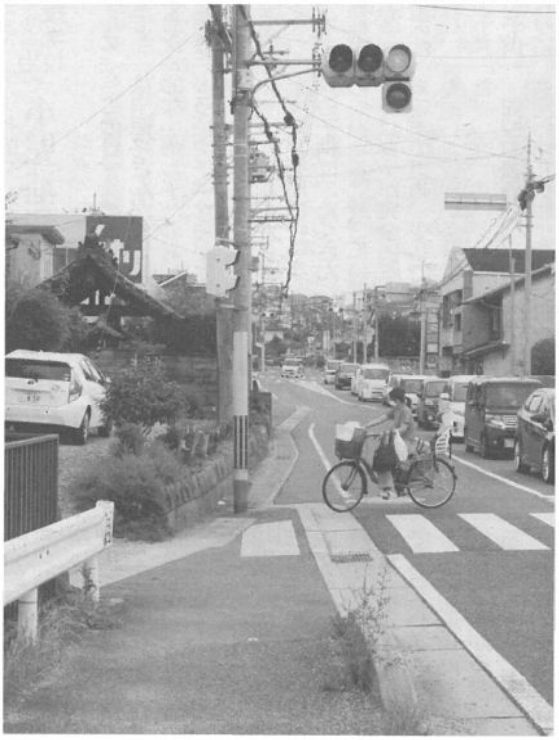
拡幅の計画が進んでいるのは、ファミリーマート宇治弐番店付近から神明方向に向かって左側部分で、現状から約2㍍広げる予定。対象区域のうち、専修院前の土地だけが残っていた。

昨年11月に契約を交わし、今年3月に建て替え計画を含めて市へ許可申請。来年3月を目途に道路用地を提供できるはずだったが、現在は市からの許可待ち状態だという。

福本住職によると、土地の明け渡しに伴っては由緒ある山門を取り壊さざるを得ず、役員会や檀家など関係者の判断と了解を得るまでに相当な時間がかかったという。

江戸時代の同寺は4人の茶師を抱え、宇治茶の伝統を築いたといわれている。しかし、府や市の文化財指定を受けておらず、山門の移設費用は全額寺で準備する必要があるという。

福本住職は「山門は個人の資産ではないので、できる限り保護したいと思ったが、財政が厳しい。残念ながら見納めです。守るべき文化財を府が取り壊すのだから、どこか矛盾しているような感じがする」と話した。



【写真―道路拡幅が予定されている場所。左が専修院の山門】

進捗評価シート　（様式1-5）

評価軸⑤-4
効果・影響等に関する報道

評価対象年度	令和2年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
穢れを払い　無病息災祈願	令和2年7月1日	洛タイ新報

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

手強いコロナに、世の中の誰もが神にすがる思いで無病息災祈願を有難く受けとめた。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

穢れを払い　無病息災祈願

宇治神社で大祓式

宇治神社（花房義久宮司、宇治市宇治山田）で30日、大祓式が営まれた。参列者たちは半年間の穢（けが）れを落とし、無病息災を祈った。

大祓式では、白い紙を人の形に切り出した人形（ひとがた）で、身体の悪い部分などをなで、今年前半の穢れを移す。同神社では、水に溶ける人形を使用し、神事の最後に宇治川へ流すこととしている。

神事でお祓いをする花房宮司

この日は雨の中、約20人が本殿に参列。神事では全員で「大祓詞」を読み上げた。花房宮司は「心の穢れを払い、清々しい気持ちで7月を迎えられますように」と話した。

続いて、参加者たちは傘を差しながら徒歩で朝霧橋へと移動。橋上から花房宮司が人形を投げ入れた。人形はひらひらと宙を舞い、人々の罪や穢れを流し去った。

朝霧橋から宇治川へ人形を投げ入れた

進捗評価シート　（様式1-5）

評価軸⑤-5
効果・影響等に関する報道

評価対象年度	令和2年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
宇治市「交流館」愛称つけて	令和2年7月16日	読売新聞
交流館の愛称「茶づな」	令和2年9月5日	洛タイ新報

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

新しくできる交流館の愛称を募集したところ、約2，000点近い応募があり、その中から『茶づな』という愛称が選ばれました。本施設のイメージ通りの愛称が決まり、市民から親しみを感じられる施設になることでしょう。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

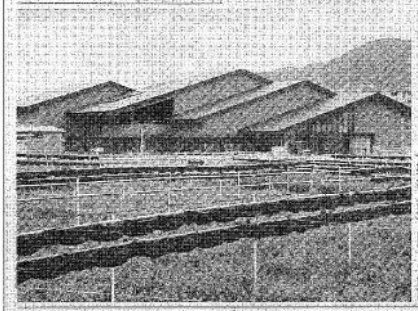
ミュージアム、宇治茶体験等

交流館の愛称「茶づな」

宇治市 歴史公園内に整備

宇治市は4日、来年6月のオープンを目指す「（仮称）お茶と宇治のまち歴史公園」内に整備する「（仮称）お茶と宇治のまち交流館」の愛称を「茶づな」と公表した。

歴史公園は国史跡・宇治川太閤堤跡に整備する新たな観光拠点。宇治茶の魅力と宇治の歴史・文化へ誘う玄関口として、太閤堤の復元文化財、修景茶園などを整備する「史跡ゾーン」、ミュージアムやレストランなどが入る交流館を整備する「交流ゾーン」で構成する。



この交流館内のミュージアムは、宇治の歴史や文化、宇治茶の魅力を展示し、市内への周遊観光につながる情報を提供。特に宇治茶に関しては「茶摘み」から「合組」までの体験ができる部屋を整備し、伝統的な木製法（覆下園）を解説して商品質な宇治茶のできる過程を紹介する。

中心施設となる交流館について、市は「7月1日～22日」の日程で愛称を公募した。市内外から1966件の応募があり、このうち小学生は184件、中学生は151件、高校生は1140件。「茶づな」は市内の高校3年生の作品で、宇治のお茶が1本の綱のように、たくさんの人と歴史をつなぐという願いを込めているという。

体験イベント順次開催へ

今後、市ホームページ、市フェイスブック、市政だより「広報うじ」（9月15日号）で紹介。採用者は施設のオープン式典で表彰し、賞品を贈呈する。

歴史公園に親しんでもらえるよう、市は市民参加の建築体験イベントを今月から順次開催する。

史跡ゾーンでは茶園として利用された時代を再現することにしており、茶摘み体験ができる修景茶園を整備する。

修景茶園内に農機具などを収納する平屋の「覆小屋」（延べ約4・8㍍、床面積約81平方㍍）を整備するにあたり、市民参加イベントを実施。今月22日に木組（上棟祭）、11月8日に瓦葺き、11月14日に小舞かき、12月13日に荒壁塗り、来年の2月31日に焼板作り、2月14日に三和土（たたき）のイベントを予定しており、順次参加者（各イベント20人程度）を募る。

問い合わせは、市歴史まちづくり推進課☎22・3141（代表）まで。

【写真―愛称が「茶づな」に決まった交流館（手前は民間茶園）】

宇治市「交流館」愛称つけて

22日まで 来年開館予定の施設

宇治市は、2021年6月のオープンを目指して整備を進めている「お茶と宇治のまち歴史公園（仮称）」内の「お茶と宇治のまち交流館」の愛称を募集している。22日まで。

交流館の完成イメージ図＝宇治市提供

歴史公園は、京阪宇治駅近くの宇治川太閤堤跡（国史跡）にできる史跡公園（約2・5㌶）。交流館は、同園内に建設中で、周遊観光につながる情報を提供する拠点施設となる。鉄骨2階建て（延べ約2290平方㍍）で、大屋根が連なるデザインや、宇治川が望める西側に多くの窓が設置されるのが特徴。宇治の歴史や文化、宇治茶の魅力などを紹介するミュージアムや、レストランも併設する予定となっている。

市では、年間11万5000人以上の来館者を見込んでおり、「新たなランドマークとして、親しみやすい愛称をつけてほしい」と公募することにした。

市のホームページや市役所などで入手できる愛称の応募用紙に記入し、22日午後5時までに、市歴史まちづくり推進課に持参や郵送、メールなどで応募する。

問い合わせは同課（074・21・1602）。

進捗評価シート　（様式1-5）

評価軸⑤-6

効果・影響等に関する報道

評価対象年度	令和2年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
「茶づな」ロゴ＆デザイン　**縁起よくすべてをつなげ**	令和2年11月17日	洛タイ新報

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

お茶と宇治のまち交流館「茶づな」の愛称が決まり、ロゴとオリジナルフォントのデザインが考えられ、施設が一層グレードアップし、完成が待ち遠しい事である。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

「茶づな」ロゴ＆デザイン

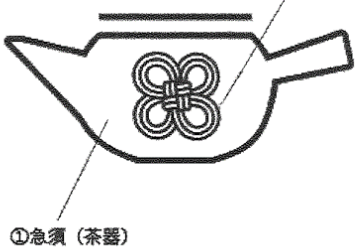
縁起よくすべてをつなげ

こうじょう雅之さんデザイン

宇治市議会建設水道常任委員会（稲吉道夫委員長）が16日に開かれ、「茶づな」の愛称が決まった（仮称）お茶と宇治のまち交流館のロゴとオリジナルフォントが報告された。

運営事業者（㈱宇治まちづくり創生ネットワーク）が制作。ロゴは、縁起のよい綱結びをデザインした急須が描かれ、柔らかくシンプルかつ印象的なイメージで若者世代にも訴える狙いがある。

また、フォントは文字全体で建物をイメージさせ、直線ながら優しい雰囲気の文字のすべてをつなげた。いずれも市観光大使で武人画師のこうじょう雅之さんが手掛けた作品だ。【写真】



進捗評価シート　（様式1-5）

評価軸⑤-7

効果・影響等に関する報道

評価対象年度	令和2年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
「覆小屋」棟上げ見学	令和2年9月23日	京都新聞
伝統技術の木組み体験	令和2年9月27日	洛タイ新報
萬福寺の古瓦で　市民参加の施工体験も	令和3年1月1日	日本屋根経済新聞

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

農機具などを収納する覆小屋を整備するにあたり、建築体験の市民参加イベントを開催しました。覆小屋の資材は全て宇治産のものを使用されています。コロナ禍での開催で人数制限等ありましたが、有意義なイベントとなりました。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

宇治市

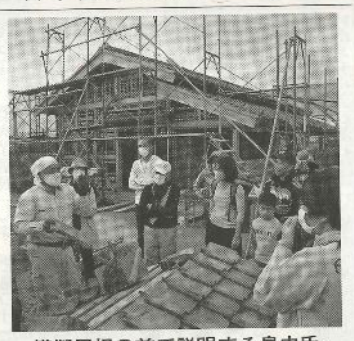
萬福寺の古瓦で

市民参加の施工体験も

京都府宇治市が主催する「お茶と宇治のまち歴史公園（仮称）覆小屋建築体験イベント」で昨年11月、史跡ゾーンに建設された覆小屋（茶園の農具倉庫）の瓦施工と、模擬屋根を使った市民向けの瓦施工体験が行われた。協力したのは京都市の瓦葺き技能者、畠中功氏（丸美瓦店）ら。

畠中氏によると、今回のイベントで使われた瓦は、宇治市にある日本三禅宗の一つ黄檗宗の大本山の寺院「萬福寺」の葺き替え工事の際に降ろされた古瓦。

子どもの参加もあった瓦施工体験で同氏は、現在生産されている瓦と、昔の瓦について説明。市民と触れ合いながらのイベントについて「非常に楽しい1日だった」と振り返る。



模擬屋根の前で説明する畠中氏。奥が覆小屋＝畠中氏提供

「覆小屋」棟上げ見学

宇治・来年開園の歴史公園　木組み体験も

来年6月に宇治市で開園する市の「（仮称）お茶と宇治のまち歴史公園」（同市宇治）で22日、公園内に再現される茶室や建物について市民が学ぶ催しがあった。参加者は「覆小屋」の棟上げをその小屋が伝統的な工法で建築されている。この日は市民らが約20人が、市内産のヒノキ屋根に葺く「祝い歌」を歌うなどして上棟祭を行った。

その後、参加者は木造で建築された小屋の建設現場を訪れた。大工たちは、伝統工法を体験した。

京阪宇治駅北側約2ヘクタールに整備する公園には、宇治や宇治茶の歴史を紹介するミュージアムが開館し、豊臣秀吉が築いた太閤堤（国史跡）の復元に加え、敷地に開かれた茶園ならびに再現される。覆小屋もその一つで、茶畑で使うよしずなどの積い取納する倉庫。8月から公園内の茶園で、木造平屋建

●市民にのっとって上棟祭を行う工事関係者ら

●つちくさびを打ちいる体験をする参加者（いずれも宇治市提供）

伝統技術の木組み体験

宇治市　歴史公園イベント

（仮称）お茶と宇治のまち歴史公園」に親しんでもらい、来年6月のオープンを盛り上げようーと宇治市は22日、市民参加イベントを開催した。

歴史公園は国史跡・宇治川太閤堤跡に整備する新たな観光拠点。宇治茶の魅力と宇治の歴史・文化へ誘う玄関口として、太閤堤の復元文化財、修景茶園などを整備する「史跡ゾーン」、ミュージアムやレストランなどが入る交流館（愛称・茶づな）を整備する「交流ゾーン」で構成する。

イベントは、修景茶園内に農機具などを収納する平屋の「覆小屋」（高さ約4・8メートル、床面積約81平方メートル）を整備するにあたり、釘や金物を一切使わず、木材に切り込みを入れて繋ぎ合わせる木組みで建築しており、先月に省工既に外観が完成した。

この日は、工事を請け負う学校法人「京都建築学園」によって、工事安全と建物の堅固長久を祈念する祭儀「上棟祭」が執り行われ、参加者ら約20人が、その様子を見学。日本の伝統技術の木組みについて説明を受け、実際に体験した。

互いの資材の断面に差し込む楔（くさび）を打ち込むことを体験した紙樹くん（三室戸小1年）は「（木槌で）叩くのが、ゲームより面白かった。大人になれば、ちょっとやってみたいと思った」と話し、"未来の大工さん"誕生を予感させた。

覆小屋は来年3月の完成を予定しており、市では節目で体験イベントを開催する。

【写真―木組みの特徴の説明を受ける参加者ら】

戸小1年歌樹君有（右）は「木づち楽しかったけど楽しかった。大工さんの仕事をしてみたいと目を輝かせていた。

覆小屋は今後も屋根瓦を葺いたり壁を塗ったりする体験イベントを行い、来年3月完成を目指す。（田中信輝）

進捗評価シート　（様式1-5）

評価軸⑤-8
効果・影響等に関する報道

評価対象年度	令和2年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
宇治学キラリ☆光るアイデア　北小倉小学校6年生	令和2年10月22日	洛タイ新報
茶づなPR提案書を作成　北小倉小6年生　総合科目「宇治学」で	令和3年3月9日	洛タイ新報

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

北小倉小学校6年生が「宇治学」の授業において、お茶と宇治のまち歴史公園の新施設『茶づな』の魅力発信についてプレゼンテーションを行った。また、PRされた企画提案書を作成し、茶づなの運営者へ贈られた。これからの運営企画に十分に組み込まれる事となり魅力ある発信になることが期待される。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

茶づなPR 提案書を作成

北小倉小6年生 総合科目「宇治学」で

宇治市立北小倉小学校（中野正彦校長）の6年生が、総合的な学習「宇治学」の一環で、6月オープン予定のお茶と宇治のまち歴史公園（愛称・茶づな）を視察。同公園をPRする提案書を作成し、児童代表が運営者へ手渡した。【写真】

同校では、宇治市歴史まちづくり推進課と務める歴史側など、手連携し、公園内の歴史供たちによる柔軟なア交流館で行う体験プログラムを考案。昨年10月に開いたプレゼンで

は、ちはや姫が先生を一者が児童たちを歴史公園に招き、交流館内にある未公開のミュージアムを特別に視察してもらった。

この日午前9時、公園に到着した6年1組の児童20人が、歴まち課の谷口弘明課長から説明を受け、ミュージアムに入場した。

「お茶ゾーン」では宇治茶の製法や豆知識についての展示を、「歴史ゾーン」では映像で観光名所をたどるミニシアターなどを見た。CGを使った面白写真が撮れるコーナーもあり、児童たちはカメラに映る画面を見ながら楽しんでいた。

休憩の後、特別ゲスト・こうじょう雅之さんがダイナミックなライブアートパフォーマンスを披露。続いて陶呈式が開かれ、代表児童が谷口課長へ提案書を贈呈した。

提案書は、茶づなPRの方法を書いたレジュメで、イラストを交えて個別に1人ずつ作成。代表児童が「茶づなの学習を通して今まで知らなかった宇治の魅力に触れました。せひ提案書を参考にしてください」と話し、谷口課長をはじめとする関係者を大喜びさせた。

歴史交流館の酒寄直人館長（宇治まちづくり創生ネットワーク）は「一つでも多く提案を実現できたらと思います」と話した。

きょう9日は2組の児童21人が茶づなを訪れ、同様にPR企画の提案書を贈る。

ツアーを紹介した近澤くんと、歴史劇をアピールする山本くん

事業者らにプレゼンテーションを行った6年生児童たち

宇治学キラリ☆光るアイデア

北小倉小学校6年生

堂々と10プランをプレゼン

制約なんの！魅力発信へ発奮

新観光施設 運営スタッフら視線熱く

宇治市立北小倉小学校（中野正彦校長）の6年生41人は16日、総合的学習「宇治学」の授業で市職員や企業の担当者らを相手に、新たに「茶づな」と命名され、オープンが間近に迫るお茶と宇治のまち歴史公園の「魅力発信」についてプレゼンテーションを行った。運営会社のスタッフがハッと目を見開く独創的なアイデアも披露されたという。

宇治市立校では、小中学校（小1～中3）を通じて切れ目なく取り組む総合的な学習「宇治学」を展開。小学6年生のテーマ「ふるさと宇治の魅力大発信」で、同校6年生全員は等院や源氏物語ミュージアムなど教科書にも載っている名所や旧跡、施設を見学。市内の地元の事柄に関心を寄せる好機となった。

そして、同施設の概要説明を市歴史まちづくり推進課から手ほどきしてもらった児童たちは、自然・歴史・産業・商業・人とのつながりAB・同のBグループに分かれ、施設の中で楽しめる企画づくりに知恵を絞った。

約がある中でインターネットを使った調査や、グループのメンバーと意見をぶつけあうなどして、具体案を練り上げていった。授業のほか家庭でも取り組み、二、三週、家族で平等院に行ってみようか」との声が家族で出るなど広がりも見せたという。

プレゼン当日までに10グループがポスターに趣旨をまとめ、市職員や施設を運営する予定の会社の担当者らが聴き耳を傾ける中、各グループが順次、発表。「ちはやと源氏を自転車でお茶所を巡ってもらい、お客様が広当落になる取り組みを」「自然や風景を撮影し、SNS発信してもらう」「一日魅力付けてたっぷり宇治の魅力を体験してもらう農家なツアーを」などと内容を提案し、興味深そうに耳を傾けた職員らと盛んに質疑も行われた。

近澤久紀（たいき）くんはメンバー3人と自然・観光ツアーを発案。「給食にあった料理を使ってメニューでお弁当も作りたい」、山本奏太くんはメンバー2人と歴史劇のアイデアを出す。「歴史に関心を持つおうじちゃまや、ちはや姫が教える筋書き。外国人に分かりやすくするため、バーコードを付けてスマホで翻訳できるようにする」なども声を弾ませた。

藤井俊也教諭は「真剣そうだった」と振り返り、転任前は市教委指導主事として7学年分の副読本作成に努めた知恵を生かしたいと、「自分自身が興わる感覚がモチベーションを上げ、宇治学が最終的に目指す探究へとつながる。事業側も活発に意見を出され、気分が高まっていた」と成果に触れた。

進捗評価シート　（様式1-5）

評価軸⑤-9

効果・影響等に関する報道

評価対象年度	令和2年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
まちづくりに新たな風　中宇治の都市デザイン案	令和3年2月14日	洛タイ新報

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

宇治市のまちづくりについて「宇治の中の中宇治～外からの視線・中からの視線～」と題して、意見交流が行われた様子の報道から、インターネット会議に参加されなかった宇治市民にも、これからのまちづくりについて考察の提案がなされたように思う。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

東西4大学教員と学生　宇治市民らと意見交換

まちづくりに新たな風

中宇治の都市デザイン案

関東・関西4大学の教員・大学院生らが作成した中宇治地域の都市デザイン案について、作成者と宇治市民らが意見を交わす集まりが13日、オンライン形式で開かれた。

案を作ったのは、京都芸術大学環境デザイン学科・慶應義塾大学石川初研究室・奈良女子大学景観デザイン研究室・東京大学都市デザイン研究室の教員や大学院生・学部生で構成する「大学合同宇治PJ（プロジェクト）」。

昨年から、宇治での2回のフィールドワークも行いつつ作成した。アーバンデザインセンター宇治（UDCU）の活動の一環。

集まりはUDCUと、宇治市のまちづくりについて市民ベースで意見交流を続けてきたフューチャーデザイン宇治のコラボレーションで、「宇治の中の中宇治～外からの視線・中からの視線～」と題して開かれた。インターネット会議ソフトを用い、約50人が集った。

案は「まちにわがつむぐ『奥・ゆかしいまち』中宇治　宇治まちづくりビジョンver1・0」とのタイトルでまとめられ、冒頭でプロジェクトメンバーが説明した。案は、中宇治について、「観光地としての資源とブランド」と、暮らしが営まれる「定住地としての歴史とコミュニティ」がこれまで別々に論じられてきたという問題意識から、両者を近づけて高い質を持った居住地・日常生活圏をつくろうとするもの。JR宇治駅前に街につながる空間機能を持たせたり、地元住民が過ごす「ふれあいパーク」を作る構想などが詳細に記されている。

説明後のグループごとの意見交換や再度全員集まったまとめの時間では、「観光客が災害ボランティアになれる」「地元の人も観光客ともっと交流がしたい」など多様なアイデアが出された。

合同PJは案を〝外からの目線〟と考えている。今回得た〝内からの目線〟や来年度実施予定の社会実験などを通じ、さらに精緻に練り上げてver2を作成するという。

UDCUは、特に中宇治のまちづくりに関心を持ったり携わったりする人々が同じ立場で協働する「場」となることを目的とし、4月、一般社団法人を設立する。現在は、設立準備会（代表・宮城俊作東京大学大学院教授）として活動している。

オンラインで意見交換をするフューチャーデザイン宇治のメンバー

進捗評価シート　（様式1-5）

評価軸⑤-10
効果・影響等に関する報道

評価対象年度	令和2年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
舞踊や変面ショー楽しんで　境内でナイトツーリズム	令和3年3月17日	洛タイ新報
萬福寺に幻想の光	令和3年3月20日	洛タイ新報

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

京都・宇治灯り絵巻事業で行燈の掲出・点灯は継続されましたが、イベントは新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から延期となり、夜の観光を楽しんでもらう企画として、「萬福寺ランタン」の開催を楽しみにされていた事だろう。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

舞踊や変面ショー楽しんで

黄檗山萬福寺　境内でナイトツーリズム

京都山城地域興社（お茶の京都DMO）は19日（金）～21日（日）、夜の観光（ナイトツーリズム）を楽しんでもらう企画として、黄檗山萬福寺で中国文化の芸能ステージ「萬福寺ランタン（中国提灯）」を開催する。

【写真】今回の催しは、隠元禅師が来朝した長崎県の「長崎ランタンフェスティバル」が元になっており、中国～長崎～京都の交流の歴史を体験してもらう狙い。なお、長崎のフェスは中国の春節に合わせて毎年開いており、昨年は2週間で50万人以上が訪れたという（今年は中止）。

萬福寺のライトアップは、昨年3月に「宇治灯りのみち」イベントに付随する形で予定されていたが、コロナ禍で中止となった。1年間の延期を経て、中国文化の芸能行事が結集する。

月台（ステージ）では、午後6時からライト点灯式を行った後、平盛小児童による龍舞、隠元禅師にまつわる講談がある（ともに初日のみ）。櫓琴・二胡の演奏や、獅子舞、変面ショーも楽しめる。

点灯時間は各日午後6時～9時。拝観料は大人500円、小人300円。マスク着用。

なお、駐車場は閉鎖するため、自家用車での来場はできない。公共交通機関を利用すること。

萬福寺に幻想の光

お茶の京都DMO　あすまで夜観光

宇治市五ケ庄の黄檗山萬福寺を光で彩るイベント「萬福寺ランタン」が19日、同寺で始まった。中国ちょうちんやライトアップで伽藍（がらん）が夜に映え、訪れた人々は幻想的な光景を楽しんだ。

同寺は中国僧の隠元が開創した。新たな催しは、夜の観光（ナイトツーリズム）を楽しんでもらおうと、京都山城地域興社（お茶の京都DMO）が企画した。

初日は点灯式に続き、本堂前のステージ「月台（がったい）」で宇治市立平盛小学校の児童が約20年にわたって取り組んでいる中国の龍舞を披露。リズムに合わせて面が瞬時に入れ替わる中国の伝統芸能「変面」のショー、四代目玉田玉秀斎さんの隠元にまつわる創作講談なども繰り広げられ、来場者が異国情緒あふれる催しを満喫した。

あす21日（日）まで。午後6時～9時。拝観料は公共交通機関の利用を呼び掛けている。

オープニングに勇壮な龍舞を披露する平盛小の児童たち

ライトアップで幻想的なムードに包まれる萬福寺の境内

法定協議会等におけるコメント　　（様式2）

評価対象年度	令和2年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称：宇治市歴史的風致維持向上協議会

会議等の開催日時：令和3年4月26日　14：00～16：30

（コメントの概要）

・まちづくりを事業化するには計画が必要であり、どんな風致を持っているまちにしていきたいか、ワークショップで自由に意見交換する機会があると良い。

・名勝宇治山の風致保全をしっかりやっていく必要がある。

・茶商のお宅の庭園や茶室が壊されないように調整し、未指定文化財の保存を進める必要がある。

・建物修理修景の助成について、中宇治の三角形街区の中にも助成対象区域の拡充が必要。

・空き町家の保全条例をつくり、取り壊す前に届け出る等のソフト面整備が必要。

・歴史的建造物に指定して守る方法及び企業版ふるさと納税等を利用し基金を作って修理・修景をする等の検討をすべき。

・茶畑、宇治川の鵜飼、大幣神事等価値ある伝統的なものを持続させていくために、後継者の育成が大切。

・無電柱化の範囲を更に広げてほしい。

・地域資源をどう活用するか、人をどう育てるかなど、ソフト面での様々な検討事項を第2期計画に盛り込んでいく必要がある。

（今後の対応方針）
第2期計画の策定に向け、重点区域の範囲、歴史的風致の価値観、財源問題等考えなければいけない要素がたくさんある中で、補助事業の組立が大切である。
また、価値ある地域資源を保護し、活用していくためには、人に伝え育てる教育に組み込む必要性がある。